

武田 正樹 議員

清流クラブ

道路交通網の充実をはかり安全な道路を

問

道路交通網の充実について尋ねる。

- (1) 今後の道路整備の方針として、都市計画道路、市道などの道路整備事業はどのような目的のもとで整備が進められているか。
- (2) 特に市民の安全性の向上を図るためにどのような道路整備が行われているか。
- (3) 後期基本計画にある災害時への対応やバリアフリー化、環境・景観の保全と創造、歩行ネットワークの形成などに配慮した安全で潤いのある道路づくりを進めるために、どのように整備計画を進めていく

のか。

- (4) 弥富市事業概要の7路線のうち市内の南北を結ぶ大変重要な路線である名古屋第3環状線と中央幹線の進捗状況と今後の整備計画を尋ねる。

また未着手区間の今後の整備計画はどうか。

より安全で便利な道路環境の整備を計画的に進めていく

答 開発部長

- (1) 広域交流基盤の強化のため、伊勢湾岸自動車道へのアクセスの一層の向上、南北方向への道路網の充実、市街地の拠点機能の強化を見据えた道路網の整

備のほか、安全・環境・景観に配慮した人にやさしい道づくりが課題となっております。これらの課題を解決するために計画的に進めている。

- (2) 歩行者・自転車などの安全対策として歩道設置を進めることにより、安全性の向上を図っている。

- (3) 災害時の物資の輸送や緊急車両の通行の確保を図るために、県が定める緊急輸送道路から各防災拠点を結ぶ路線の整備、高齢者や子供などが安心安全に通行できる段差を解消した歩道整備、都市部における良好な公共空間の形成、沿道における良好な生活環境や景観を確保するために植樹帯を設置し、歩行ネットワークの構築を図ることにより、安全で潤いのある道づくりを進めていく。

- (4) 名古屋第3環状線は、現在、伊勢湾岸自動車道から境町までの1.1kmの間を23年度に供用開始しており、境町から間崎までの約2.7kmの間は事業中区間で境町の一部及び稲荷崎地内の用地買収を継続的に進め

ている。県は、国道23号線までの道路整備を32年度までに完了予定である。25年度末の進捗率は、事業ペースで約32%である。

中央幹線道路は、日の出橋から伊勢湾岸自動車道までの道路整備事業を行っており、延長7kmのうちの約4.3kmは25年度までに供用開始している。現在は、鍋田地内で道路整備事業を進めており、進捗状況は、整備延長で約66%となる。

未着手区間については、今後もし引き続き県などに要望していきたい。

市発展の責任者としての市長の決意を尋ねる

問

第1次弥富市総合計画後期基本計画をもって本市が次なるステップを踏み出すに当たり気になるのが、市長の任期が1年を切っていることである。服部市長には、弥富市発展の指針、後期基本計画においても、最後まで責任者として遂行し、第1次弥富市総合計画を完結し、本市のさらなる

発展に御尽力いただきたい思いである。

弥富市発展の責任者として市長の決意を尋ねる。

総合計画を推進すべく次期市長選に出馬する

答 市長

第1次弥富市総合計画前期計画を終え、その成果と反省を踏まえ、26年度から30年度の5カ年を計画期間とする後期基本計画を策定した。

この計画を進めるため、さらなる行財政改革と税収の確保を基本とし、財政健全化のもとに、みずからの気力・体力を充実させ、市民の皆様と一体となり協働の精神でまちづくりを進めていく。

年明けに実施される弥富市長選挙については、出馬させていただく決意である。市政発展のため、後期基本計画の実行に全力で取り組んでいきたい。